

[馬術] 全日本ジュニア総合・ヤングライダー選手権

吉澤・エンドーペロー号が3位

全日本ジュニア総合馬術大会が5月25日から27日まで、JRA馬事公苑で行われ、ヤングライダー選手権で吉澤和紘主将(経営4・西宮香風高)・エンドーペロー号が3位に入賞した。西原郁人(経済4・札幌光星高)・ゴールドスター号は5位、黒沼尊之(経済2・自修館高)・エイムライト号は9位だった。

「悔しい3位だ。優勝を狙えるだけの力がエンドーペローにはある。結果は残念だが、次につながる内容の試合だった。次の大会は勝ちます」と語った吉澤主将。チームの状態も上々で、「試合を重ねるごとに団結力が高まっている」と話した。次回は大きな活躍が期待できそうだ。

東京都馬術大会 馬場馬術で西原優勝

東京都馬術大会(5月18~20日、同会場)の馬場馬術競技第3課目で西原が優勝、黒沼が4位、高山健一郎(商4・向陽台高)が6位に入賞した。



▲上位入賞の吉澤主将(左)と西原

(加藤 未希・文3)

[フェンシング] 全日本学生王座

フルーレ 男女とも準優勝

フェンシングの全日本学生王座決定戦が6月2、3日、京都府大山崎町立体育館で行われた。専大は男女ともフルーレの部に出場し、ともに準優勝を果たした。

女子主将の佐々木智子(経済4・八千代西高)は「準優勝という結果は正直悔しいが、課題が見つかったことは収穫。この敗戦を次につなげ、関東学生選手権で勝利したい」と話し、男子フルーレのリーダー・坂本遼輔(商4・翔陽高)は「準優勝できてうれしい。今後も優勝を目標に頑張りたい」と語った。



▲4年次生としてチームを牽引した坂本(右)

関東学生リーグ 女子3位、男子4位

また、5月1日から11日まで、駒沢屋内競技場で行われた関東学生フェンシングリーグ戦は、女子がエペ3位、サーブル6位で総合3位(フルーレは優勝=5月号既報)。男子はエペ、サーブルでともに5位(フルーレは準優勝)となり、総合4位となった。

(田口 能成・経済3)

[テニス] 関東学生トーナメント

女子単で藤井準優勝 単10人、複5組インカレ出場へ

関東学生テニストーナメント大会が5月7日から14日まで、有明テニスの森公園で行われ、女子シングルスで藤井友里(経済2・相山女学園高)が準優勝を果たした。

女子ダブルスでベスト8入りした相羽望(文3・秀明英光高)・細貝沙織(経済3・水戸商高)組など、シングルスで8人、ダブルスで4組が全日本学生選手権(インカレ)の切符を手にした。

昨年はインカレに出場できなかった藤井だが、悔しさをバネに努力し続けた。「インカレに出られるのは本当にうれしい。この大会に向けて脚力を強化してきたので、これからは夏に向けて肩を中心に筋力を向上させ、力強いサーブを打てるようにしたい」と語った。

また、男子はシングルスで2人が、ダブルスではベスト16に進出した井上敬介(商3・日大三島高)・干場義政(商2・法政大二高)組がインカレの出場権を獲得した。

(加藤 未希・文3)

[ゴルフ]

関東女子学生大学春季対抗戦4位、関東大学春季リーグ戦4位

ともに全国大会の出場権獲得

関東女子大学ゴルフ春季対抗戦が5月29・30日、栃木県・ロイヤルカントリークラブ・羽黒コースで行われた。2日間ともチームトップのスコアを出した木村麻希(経済2・明德義塾高)の活躍もあり、専大は4位となった。この結果、全国女子大学ゴルフ対抗戦の出場権を獲得した。

また、5月14日から18日まで福島県・棚倉田舎倶楽部で行われた男子の関東大学春季リーグ戦は4位。この大会で全国大学ゴルフ対抗戦の出場権は獲得できなかったが、5月19日に同コースで行われた関東地区予選会で優勝し、出場権を得た。

(田口 能成・経済3)

[相撲] 東日本学生

相坂が3位入賞

団体はAクラス予選進出

東日本学生相撲選手権が6月10日、東京・両国国技館で行われた。個人戦で、相坂卓（経営3・三本木農業高）が予選ベスト8に入り、決勝トーナメントに出場、専大では9年ぶりとなる3位入賞を果たした。

「初めてこの大会で成績が残せたので、本当にうれしい。準決勝で相手の相撲に合わせてしまったというのが反省。次の大会でも入賞することが目標です」と語り、次への決意を新たにした。

団体戦は、Bクラストーナメント2位でAクラスの予選リーグへ。大東大に4―1で快勝したが、日大・東洋大に敗れ、決勝トーナメントへは進めなかった。



▲気迫あふれる取り組みで3位に入賞した相坂

(松本かおり・文2＝写真も)

[バスケットボール] 関東女子学生

接戦制して5位を確保 出水主将がベスト8賞

関東女子学生バスケットボール選手権が5月22日から27日まで、東京・代々木第2体育館ほかで行われ、専大は5位となった。

1、2回戦を順調に勝ち進み、ベスト8に進出したが、3回戦で早大に4点差で惜敗した。5～8位決定戦では日大、白鷗大と対戦。何度も苦しい場面を乗り越え、両試合とも一ケタ台の点差で接戦を制した。

児玉茂監督は「今後はシュートの成功率を上げ、筑波大(今大会優勝校)の体力とスピードに負けないように取り組んでいきたい」と語った。また、今大会のベスト8に選出された出水絵里主将(文4・市立柏高)は、秋のリーグ戦に向け「絶対上位に入りたい。筑波大にも勝てるように頑張る」と語った。

(松本 かおり・文2=写真も)